

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年2月16日（金）

### 2 確認箇所

高温焼却炉建屋東側

### 3 確認項目

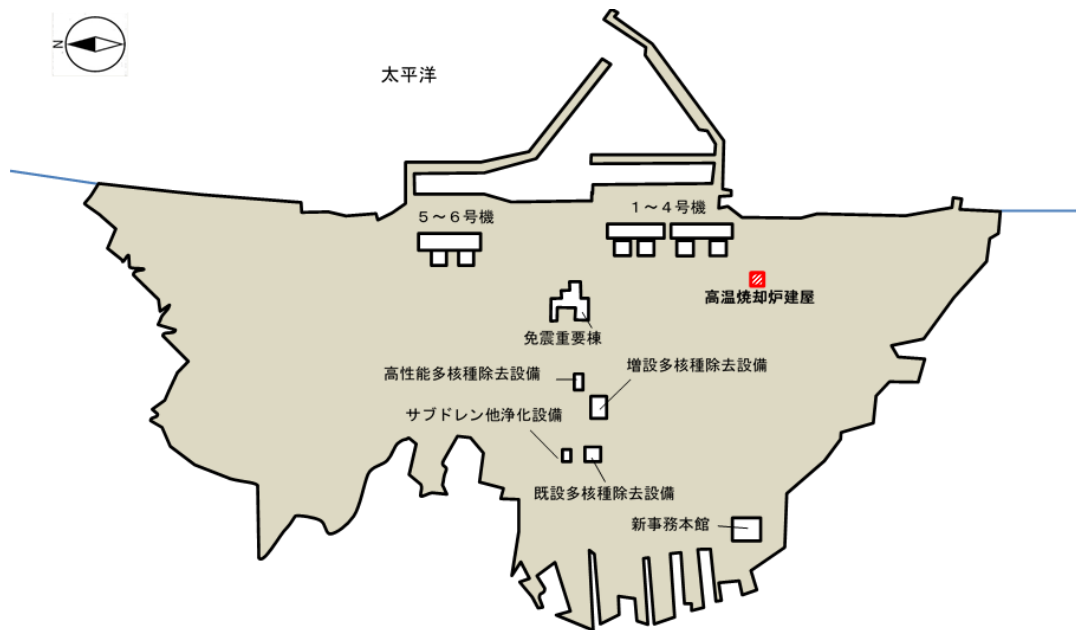
高温焼却炉建屋東側壁面配管からの水の漏えいの対応状況

### 4 確認結果の概要

令和6年2月7日に発生した高温焼却炉建屋（以下「HTI建屋」という。）東側壁面の配管（第二セシウム吸着装置に接続する水素ガス排出用の排気管）からの放射性物質を含む水の漏えい事象の対応状況を引き続き確認した。なお、当該事象については、これまで水漏えい箇所直下コンクリート盤における除染及びポリウレタ吹き付けによる放射性物質の飛散防止、コア抜きによる汚染状況の調査、同コンクリート盤周囲の砕石土壌の撤去、水漏えい箇所直下コンクリート盤の撤去作業等が行われたことを確認している。

（図1）（写真1）（前回確認：[令和6年2月15日](#)）

- ・ 水漏えい箇所直下コンクリート盤下部の土壌回収のため、コンクリートカッターでコンクリート盤の一部（HTI建屋東側）を切断する作業は終了していた。（写真1）
- ・ 同コンクリート盤北側及び東側において、土壌回収後に汚染の無い土砂を被覆する作業はほぼ完了していた。（写真2）
- ・ K排水路のバイパス工事（排水路当該区域内上流部に堰、水中ポンプを設け、下流部まで配管でバイパスを設ける。）が実施されていた。（写真3）
- ・ 作業エリア3箇所で連続監視しているダストモニタの測定値を確認したところ、警報設定値（ $1 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ ）未満であった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
水漏えい箇所直下のコンクリート盤の状況



(写真2-1)  
同コンクリート盤北側砕石地盤の状況



(写真2-2)  
同コンクリート盤東側砕石地盤の状況



(写真3)  
K排水路への入口



(写真4-1)  
作業エリア北部で連続監視している  
ダストモニタ(緑ランプ点灯：警報設定  
値に達していないことを示す)



(写真4-2)  
同エリア中央部及び南側で連続監視  
しているダストモニタ(緑ランプ点  
灯)

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。